

## ブータンへの渡航を予定される皆様へ

発出日：2022年04月28日（継続）

ブータン南部（インド北東部諸州との国境付近）	〔レベル1〕 「十分注意してください。」（継続） その国・地域への渡航、滞在に当たって危険を避けていただくため特別な注意が必要です。
------------------------	--

## 【ポイント】

- ブータン南部の国境付近では、インド側過激派の活動の影響を受けて、治安情勢が悪化する可能性がありますので、常に最新の情報を入手するよう努めてください。
- 身代金目的の誘拐が発生することがありますので、目立たないようにするなど注意が必要です。

## 1 概況

- (1) ブータンでは、1990年代終わりから、王制から民主制への移行が進められ、選挙や政権交代が平和裏に実施されるなど、治安は概ね安定しています。
- (2) ただし、インドと国境を接する南部地域では、1990年代末以降インド・アッサム州での分離独立運動を行っている過激派組織が侵入したため、ブータン政府が掃討のための軍事作戦を行った経緯があります。2011年5月には南部のブンツォリン及びゲレブで、同年10月にはブンツォリンで、また、2012年10月にはゲレブで、同年11月にはサムテンリンで、それぞれ爆破テロが発生したほか、身代金目的の誘拐が発生することもあり、注意が必要です。
- (3) ブータンにおいては、日本人・日本権益を直接標的としたテロ事件は確認されていませんが、テロによる日本人の被害は、シリアやアフガニスタンといった渡航中止勧告や退避勧告が発出されている国・地域に限りません。テロは、日本人が数多く渡航する欧米やアジアをはじめとする世界中で発生しており、これまでにもチリニア、ベルギー、バングラデシュ、スリランカ等においてテロによる日本人の被害が確認されています。特に、近年では単独犯によるテロや、一般市民が多く集まる公共交通機関等（ソフトターゲット）を標的としたテロが頻発していることから、こうしたテロの発生を予測したり未然に防いだりすることが益々困難となっています。このようにテロはどこでも起こり得ること及び日本人が標的となり得ることを十分に認識し、テロの被害に遭わないよう、海外安全ホームページや報道等により最新の治安情報の入手に努め、状況に応じて適切で十分な安全対策を講じるよう心掛けてください。

※外務省海外安全情報（危険情報）の詳細につきましては、

外務省海外安全ホームページ : <http://www.anzen.mofa.go.jp>  
<http://m.anzen.mofa.go.jp/mbright.asp>（携帯版）にてご確認ください

または、

外務省領事サービスセンター 電話：（外務省代表）03-3580-3311（内線）2902, 2903  
外務省領事局海外邦人安全課（テロ・誘拐関連を除く） 電話：（代表）03-3580-3311（内線）2306  
外務省領事局邦人テロ対策室（テロ・誘拐関連） 電話：（代表）03-3580-3311（内線）3047  
までお問い合わせください。

弊社では海外安全情報が発出された場合、原則として〔レベル1〕「十分注意してください。」までの地域、国についてツアーを実施しており、ツアー実施にあたりましては、現地情報を十分把握し、安全で円滑な日程となる様配慮して運行管理を行っております。